

【第一回ロープアクセス大会 2024 概要】

大会趣旨

ガラス外壁クリーニングを主とした、ロープ高所作業技術者のための大会であり、より早く安全に高度な技術を駆使して競いあう大会である。

その内容については、複雑化された現代の構造物に対しても対応できるための基礎的な技術構成となっているため、大会を通して選手のスキルアップ、また同業他社とのコミュニケーションも図ることでお互いの情報交換が安全意識の向上につながり、強いては業界全体の社会的地位向上につながることを期待できる。

競技全般

- ・本大会は、1チーム2名からなる計12チームによる、チーム（会社）対抗戦である。
- ・勝敗は、各チーム400点からの減点方式で、最終持ち点の多いチームが優勝となる。
- ・競技種目に関しては、下記に記す4種目を競い合うものとする。（詳細はHP参照）
- ・装備資器材についてはPPEを使用し、安全事項に関しては厳しく審査するものとする。

競技内容

①【ロープ登高技術】（トーナメント戦）

ロープアクセス技術の基本ともいえる登高技術をリレー形式で競うものである。本競技ではスピードを競い合うものだが、競技中の安全対策手順に関しても厳しく審査する。

②【ロープセッティング技術】

現場におけるロープセットの基本技術 Y ハングを、制限時間内で、いかに正確な結び、及び**指定の角度**を構築できるかを競うものである。

③【クロスホール技術】

本来は、負傷した人をロープで搬送する非常に高度な技術である。速さだけでなく、負傷者に負担をかけないように搬送することが求められる。

但し、本競技ではロープワークの基本技術ということで、バックアップラインを使用せず、また負傷者の代わりに水の入ったペール缶を搬送する。

④【総合技術】

ロープ高所作業における実際のガラス清掃現場を模した競技である。

選手の一人が立入禁止区域を確保後、もう一人がロープを登高、**チェンジオーバーした後** **下降**、下方に設置されている3枚のガラスを清掃する。あくまでも空中での作業を想定しているため、足が地面に接触した場合は減点対象となる。